

## 記事掲載のお知らせ

媒体名	週刊ウイングトラベル
発行	航空新聞社
発行日	2024年3月18日(月)
掲載箇所	P8
タイトル	アメリカンエクスプレス グローバルビジネストラベル 2024 ミーティング&イベント予測
執筆者	アメリカンエクスプレス グローバルビジネストラベル   日本旅行 代表取締役社長 マルコ・ペリツォー



2023年は日本および世界において、ミーティング&イベントが非常にアクティブな一年となりました。ほとんどの会議が対面形式に戻り、「オンライン会議疲れ(オンライン会議後に感じる特有の疲れ)」は現実のものだと分かりました。参加者数はパンデミック前の水準を回復、あるいは上回り、社内のチームミーティング、役員会、特別イベントも増加傾向にあります。テクノロジーの利用がさらに普及していることも注目に値します。このような傾向は、ミーティング&イベントの戦略的性質がビジネスと企業の成長にとって重要な道筋であることを明確に示しています。

日本でも「ミーティング&イベント(MICE)」は、消費拡大、高付加価値化、地方への誘客という点で評価されています。パンデミックによって大きなダメージを受けた日本のインバウンドツーリズム業界は、これまで以上に力強く立ち直り、政府による政策と戦略によって支えられています。

その一例として、2023年5月に観光立国推進閣僚会議にて決定した「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」では、「ビジネス分野」「教育・研究分野」「文化芸術・スポーツ・自然分野」の3つの分野を柱とし、ビジネス分野では、国際会議開催数アジア No.1に加え、世界でも5本の指に入る国際会議開催国としての地位を維持することを目標の一つに掲げています。

アメリカンエクスプレス グローバルビジネストラベルはこのほど第13回目の「ミーティング&イベント予測」を発表しました。この予測は、世界中のミーティング&イベント関係者500名以上を対象とした調査と、業界リーダー10数名への詳細なインタビューに基づいて作成されたものです。この結果、2024年は明らかにダイナミックな年となり、大幅な成長とさらなるテクノロジーの導入という特徴があることがわかりました。

この報告書では、対面会議の重要性に加え、ミーティング&イベントの領域で見られる進化を形作る、さらに多くの主要なトレンドが強調されています。その中には、テクノロジーの導入やオートメーションの活用、人工知能(AI)、サステナビリティへの取り組みの強化、より小規模でシンプルな会議への再注目などが含まれています。

それだけではありません。イベントプランニングの合理化・自動化を可能にする新たなテクノロジーによって、プランナーが管理業務から解放された時間を、より戦略的で創造的な取り組みに振り向けることができることに気づいた今、テクノロジーは中心的な役割を担っています。また、ロボット工学、AI、データ分析システムの導入が急増し、企業のサステナビリティ目標の追跡・管理を支援するテクノロジーの準備が整うことも予測されます。

前向きなムードが続いているとはいえ、世界的なインフレ、継続的な人手不足、参加者の期待の高まり、そしてサステナブルな行動をとるだけでなく、サステナビリティが優先事項であることを明確に示すことの重要性の高まりなど、ミーティング&イベントの専門家は依然として無数の複雑な課題に直面する可能性があります。

ミーティング担当者は、利用可能なツールを効果的に活用することで、こうした課題に対応することができます。そのためには、テクノロジーを活用してタスクを自動化し、ミーティングプログラムの規程を改定して予算承認を迅速化し、出張と会議を統合し、パートナーや代理店と緊密に連携する必要があります。

それでは、アジアパシフィック地域の特徴を見てみましょう(下図参照)。

アジアパシフィック地域の全体的な会議費は、2023年の2.7%に対し、2024年には4.3%増加すると予想されています。調査回答者は、団体ホテル料金は4.9%、団体航空料金は6%の増加を見込んでいます。対面での会議やイベントに関してはわずかに他の地域に遅れをとっています。調査回答者は、2024年には42%が対面、29%がバーチャル、29%がハイブリッドになると回答しました。シンガポールはアジアパシフィック地域の開催地リストのトップに返り咲き、東京、バンコク、シドニー、香港がそれに続いています。



どうすれば新しいトレンドを先取りできるか悩んでいる方のために、「企業のミーティングプログラムを向上させる7つの実用的なアイデア」をご紹介します。

### 1. 強力なパートナーシップを築く

会議の企画は進化し、より複雑になっていますが、出張管理会社、ベンダー、サプライヤーと強固な関係を築くことで、よりスムーズに進めることができます。関係者全員とチームとして協力し、信頼と信用を築くこと。サプライヤーが創造的なアイデアを共有できる安全な場を設けること。そして、専門家の意見に耳を傾け、信頼し、会議を成功に導く力を与えましょう。

### 2. 参加者(そして自分自身)のためにシンプルにする

個人旅行やイベントの予約において、人々はセルフサービスやオンライン環境にうまく適応しています。可能な限りセルフブッキングや自動化されたプロセスを提供し、会議関係者に消費者タイプの体験を取り入れるようにしましょう。

### 3. テクノロジーとオートメーションの完全活用

会議・イベントの参加登録とロジスティクスのための理想的なテクノロジーソリューションが完全に整っているわけではありませんが、企業が既存の技術を最大限に活用できる方法はまだまだたくさんあります。人工知能(AI)を使ってコミュニケーションをパーソナライズしましょう。信頼性の高いモバイルアプリは、参加者が会議やイベントに参加したり、アジェンダを把握したり、ワークショップに申し込んだり、質問したりするのに最適です。直接会うことが難しい場合、バーチャル会議やイベントは効果的です。また、技術的に進んだアプローチを示したいのであれば、バーチャルリアリティ(VR)を取り入れ、遠隔地の参加者が3D空間でつながることができるVR会議を提供したり、その場で実物そっくりの製品デモを提供したりすることもできます。

### 4. 会議・イベントを見逃せないものにする

会議やイベントに参加するために業務から離れてもらうのは難しいことです。参加者は、それだけの価値があることを理解する必要があります。そこで、質の高いコンテンツ、ネットワーキングの機会、セールスリード、教育など、参加者が何に価値を見出すかを理解することで、参加者の時間を有意義なものにしましょう。また、十分な休憩時間、セルフケアやマインドフルネスのアクティビティ、豊富な食事や飲み物のオプション、さらには会場のデザインなど、参加者のウェルビーイングにも配慮しましょう。また、イベント開始時から終了後まで、メールでの働きかけを行うことで、イベントへの参加を促し、イベントの価値を再認識してもらうことができます。

### 5. サステナビリティを優先する

昨今、ほとんどの企業にとってサステナビリティは最優先事項であり、会議やイベントはしばしば精査の対象となります。企業は、サステナブルで費用対効果の高い方法を採用することで、一歩先を行くことができます。例えば、メニューを合理化することで食品廃棄物を減らすことはコスト削減につながるのです。

### 6. 戦略で大きく

小規模でシンプルな会議は、サステナブルであることを確認するだけでなく、大規模な会議が行うすべての要素を含む必要があります。小規模だからといって、配慮が必要ないわけではありません。DE&I(多様性、公平性、包括性)戦略を盛り込み、参加者のウェルビーイングを考慮し、価値あるコンテンツを満載し、モバイルアプリや簡単な登録といった役立つテクノロジーを活用するようにしましょう。

### 7. ミーティング&イベントプランナーという職業について啓蒙・提唱する

ミーティング担当者の役割は広範かつ複雑です。このような役割に対する認識が高まれば高まるほど、新しい人材を受け入れやすくなります。熱心なミーティング&イベントプランナーの新世代を奨励するために、それがいかにやりがいのある仕事であるかを多くの人に知ってもらう方法を考えましょう。



GLOBAL  
BUSINESS  
TRAVEL

アメリカンエクスプレス グローバルビジネストラベル | 日本旅行(GBT NTA)は、企業、参加者、そして企業ブランドのために、ミーティングを活用する方法を知っています。バーチャル、ハイブリッド、対面を問わず、私たちは重要な体験をデザインします。そして、それを実現するためのチーム、テクノロジー、サプライヤーネットワークを持っています。エンドツーエンドであれ、ミーティング & イベントのプロセスのどこかの一部であれ、私たちはお客様をいつでもご支援させていただきます。

ミーティング & イベント業界にとって新たなエキサイティングな年が始まったばかりです。「Travel to Grow, Meet to Succeed(成長のための出張、成功のための会合)」を通して、皆様が引き続きご成功されますことをお祈りいたします。私たちと共有したいまたは議論したいアイデアがあればいつでもご連絡ください。

※本記事の著作権は  
発行者に属します。